

「思いやり」

「相手の立場で考えて見る」  
経営者にとって一番必要な能力

「上に立つ人物は部下の立場で考えてみること」

が重要だと言われている！

中国の古典の「諸説」にこんな逸話がある。  
斉の国の名宰相で有名な晏菜の話です。

斉の景公は鳥の狩猟が好きで、捕らえた鳥はある部下に世話をさせていた。  
ところが、このある部下が鳥を逃がしてしまった。怒った景公はこのある部下を処刑しようとした。

その時、宰相の晏子が、  
「その部下に自分がどんな罪で罰せられるか、はっきり告げてから処刑されてはいかがでしょう」といった。  
景公が承知したので、晏子はその部下を景公の御前に曳き出してこう宣告した。

「お前には3つの罪がある。わが君が大事にしていた鳥を逃がした。これが第一の罪。  
次に、わが君に鳥ごときのもので人を殺すようなことをさせた罪。  
第三は、わが君は、家臣の命を軽んじ、鳥のほうを大事にするという評判が諸国に聞こえる結果を招くであろう罪である。」

その上でその部下の処刑を申し出たところ、景公は自分の誤りに気づき、  
「殺すには及ばぬ」といって許したという

この逸話にはトップにある者がおちいりがちな専横と自分勝手な考え方を戒めている。  
フランスの詩人ラ・フォンテーヌはその寓話集で、ライオンと牛、ヤギ、ヒツジがいっしょに働いていたのに、その収穫をライオンが独占し  
「みんな俺のものだ。なぜなら、俺はライオンだからだ。」  
とうそぶいたという話を収めている。  
強い者は理不尽なことでも平気で押し通してしまう  
相手がどう思っているかなどあまり感じないというわけである。  
いつの場合も、相手の立場に立ってものを考えるということが必要だろう

相手の立場に立つ。  
これが一番、難しい。  
自分が強い立場にあるほど、部下の立場に立って考える必要があるんでしょうね。  
論語にも「己に欲せざるところを、人に施すこと勿れ」とある。  
孔子さんが人間として一番大切なことは「他人への思いやり」と言っている。